

幕末明治の天才絵師たち

新浮世絵展

愛媛新聞創刊150周年記念



「新!浮世絵展」
公式サイト



愛媛県美術館

(問い合わせ)

新!浮世絵展愛媛実行委員会事務局(愛媛新聞社企画事業部内)
TEL.089-935-2355(平日9:00~17:00)

2026.7.25(土)
→9.13(日)

愛媛県美術館 本館2階 常設展示室1・2
9:40 - 18:00 (入場は17:30まで)
休館日: 月曜日(ただし8/3、9/7は開館)、8/4(祝)、9/8(祝)

主催: 新!浮世絵展愛媛実行委員会(愛媛県・愛媛新聞社)

共催: 愛媛CATV 企画協力: TOPPAN

協賛: 伊予銀行、大王製紙

後援: 松山市、松山市教育委員会、愛媛県文化振興財団、愛媛県文化協会、道後温泉旅館協同組合、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛県CATV協議会、FM愛媛

美か？メディアか？エンタメか？

浮世絵120点超×デジタル演出による“新！”しい鑑賞体験

幕末から明治時代、浮世絵は、明治維新によって激動する社会の様相を描き、人々にいち早く伝える、マスメディアとしての性格を強めます。その一方で、歌舞伎界のスターを描いた役者絵や、人気小説を題材とした物語絵は、現代で言うところのエンタメとして、大衆に親しまれました。本展では、120年の歴史を持つ浅井コレクションの協力の下、幕末明治を代表する絵師たちの優品の数々を、浮世絵が担った「メディア」としての側面に注目しながらご紹介します。歌川国芳、月岡芳年、落合芳幾、河鍋晩斎ら、時代の変化を鋭敏に感じ取り、斬新で清新な表現を生み出した絵師たちの多彩な作品をご覧ください。



3つのデジタルコンテンツによる“新”しい鑑賞体験！

会場では、イマーシブ(没入型)展示をはじめとする3つのデジタルコンテンツが登場。浮世絵の世界を存分に体感できる、“新”しい鑑賞体験をお楽しみいただけます。

①イマーシブ展示

作品の空間に体感できる没入空間で、展示空間へと導入

②OMIOKURI 浮世絵

浮世絵のなかに登場する人々が、皆さんをお見送り

③デジタルフォトスポット DIVE IN UKIYO-E!®

浮世絵の中に入り込んで写真撮影ができます



※参考イメージ

音声ガイド ナビゲーター：千葉雄大さん

■料 金：650円(税込み)

俳優の千葉雄大さんが、本展の作品の見どころを通して、浮世絵の魅力をご案内いたします。

協力：東北放送

千葉雄大／1989年3月9日生まれ。宮城県出身。2010年『天装戦隊ゴセイジャー』アラタ／ゴセイレッド役で俳優デビュー。映画『利根でござる!』で第40回日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞。近年の主な出演作に、『アンメット ある脳外科医の日記』(2024)、『ダメマネ! ―ダメなタレント、マネジментします―』(2025)、『おコメの女 ―国税局資料調査課・鎌倉室―』(2026)舞台『ジャズ大名』(2023)『ワタシたちはモノガタリ』(2024)など。



【料 金】

観覧料(税込み)	一 般	高大生	小中生
当日券	1,700円	1,000円	700円
前売り券	1,500円	800円	500円

※団体(20人以上)は前売り料金で当日お入りいただけます。※障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料。※本展観覧当日に限り、コレクション展もご覧いただけます。

※石村嘉成展(7/18～9/23)の入場用QRコード提示で、当日に限り前売り料金でご観覧いただけます。

【前売り券販売期間】

5月14日(木)～7月24日(金)

【前売り券販売所】

愛媛県美術館(本館ミュージアムショップ、南館ふれあいアートセンター)、愛媛新聞旅行、愛媛CATV、いよつ高島屋、明屋書店県内各店(一部店舗除く)、コープえひめ生活文化サービス、フジグラン県内各店(松山、エミフルMASAKI、重信、西条、北浜、北宇和島)、ローソンチケット(Lコード:64231)、チケットぴあ(Pコード:996-028)、セブンチケット(セブンコード:115-318)ほか ※会期中各コンビニエンスストアでは当日料金でチケットをお求めいただけます。

取り寄せ：愛媛新聞エリアサービス、四国中央テレビ



【交通案内】

- JR松山駅より道後温泉または松山市駅前行き市内電車で7分。「南堀端(愛媛県美術館前)」下車、徒歩3分。
- 松山空港よりリムジンバスで18分。「愛媛新聞社前」下車、徒歩9分。

【お問い合わせ】

新！浮世絵展愛媛実行委員会事務局
(愛媛新聞社企画事業部内)
TEL.089-935-2355
(平日9:00～17:00)

愛媛県美術館

〒790-0007 愛媛県松山市堀之内
TEL.089-932-0010
<https://www.ehime-art.jp/>

【関連プログラム】

オープニングイベント

◎講演会「受け継がれゆくコレクション ―浮世絵が捉えた幕末明治の姿―

- 日 時：7月25日(土) 14:00～15:30
- 講 師：浅井秀(浅井コレクション四代目)
- 会 場：西館1階 講堂
- 定 員：120名
- 参加料：無料(要観覧券、要申し込み、先着順)

◎摺師による浮世絵摺り実演・体験講座

- 日 時：8月9日(日) ①11:00～②14:00～
- 講 師：竹中健司
(竹笹堂代表・竹中木版五代目摺師)
- 会 場：本館1階 エントランス(予定)
- 摺り体験定員：各回10名(要申し込み、先着順)
- 摺り体験参加費：1,000円
- ※実演は、どなたでも観覧いただけます。



©TAKEZASADO

◎納涼 浮世絵怪異講談会

夏の風物詩、怪談。江戸から明治の人々の娯楽として親しまれました。展示作品にまつわる怪談を講談で味わいます。

- 日 時：8月22日(土) 13:00開演(12:30開場)
- 講 師：神田鯉花(講談師)
- 会 場：西館1階 講堂
- 定 員：120名
- 参加料：無料(要観覧券、要申し込み、先着順)



◎杉浦非水の図案を刷ろう

杉浦非水の図案でゴム版の2色もしくは3色刷りを体験します。3種類のうち好きな図案を紙(はがきサイズ)に刷ります。

- 日 時：8月23日(日) ①11:00～12:00 ②14:00～15:00
- ※時間中随時受付、所要時間10分程度
- 会 場：本館2階 研修室前(予定)
- 参加費：1枚あたり50円

◎鑑賞プログラム「ゆっくり浮世絵」

- 日 時：8月1日(土)、8月8日(土)、8月15日(土)、8月22日(土)
8月30日(日) 各日11:00～11:30
- ファシリテーター：当館作品ガイドボランティア
- 会 場：本館2階 研修室
- 定 員：20名
- 参加費：無料(申し込み不要)

◎学芸員によるフロアレクチャー

- 日 時：9月6日(日) 11:00～12:00
- 講 師：岩本成美(当館学芸員)
- 会 場：本館2階 常設展示室1・2
- 参加費：無料(要観覧券、申し込み不要)



関連プログラムの申込方法や詳細はこちらから

【使用図版】【主面】(背景)歌川国芳「遠稲光の三天王(基圖)文久1(1861)年、三代歌川広重(東京駿河河国立銀行蔵)明治6(1873)年(右)上から三代歌川広重(東京浅草御園蔵)明治5(1872)年、月岡芳年(芳年武者無類 八幡太郎義家)明治19(1886)年、豊原国周(京鹿子娘遠成寺 笠の段)明治29(1896)年、月岡芳年(寄本無三郎於依笠義直治)文久3(1863)年、月岡芳年(芳年武者無類 遠江守北条時政)明治16(1883)年、月岡芳年(名譽八行之内 佛 常盤御前)明治11(1878)年、三代歌川広重(芝公園紅葉館 離土之貴園)明治14(1881)年、二代歌川国貞(高御殿泉水道寛の図)慶應1(1865)年、月岡芳年(高崎鉄道之園)明治4(1871)年、歌川芳徳(徳喜斎親光格兼為卿)安政5(1858)年、月岡芳年(稲光四天王大江山鬼神退治之図)元治1(1864)年、月岡芳年(月百姿 朧衆の月 小娘皇子)明治20(1887)年、月岡芳年(武者雪月花之内 五葉の月)慶應3(1867)年、月岡芳年(月百姿 浅野川晴雪月 季女ちが子)明治18(1885)年(すべて部分)、浅井コレクション【裏面】(左から)歌川国芳(源稲光の三天王(基圖)文久1(1861)年、豊原国周(歌鹿子娘遠稲光の図 矢の根)明治15(1882)年、豊原国周(上野公園開花ノ図)明治20(1887)年、浅井コレクション